

指定管理導入施設実績評価シート(平成28年度)

		施設所管課	未来まちづくり部道路・河川管理課																			
施設名	大津市堅田駅前自転車駐車場ほか17自転車駐車場																					
指定管理者	社会福祉法人大津におの浜障害者福祉協会																					
指定期間	平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日																					
指定管理料	年額173,484,000円(平成28年度) (総額867,420,000円)																					
設置目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の自転車等の駐車利便の向上 ・駐車料金の徴収に関する業務 ・駐車秩序の確立と都市景観の維持 																					
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市自転車駐車場を利用に供する業務 ・駐車料金の徴収に関する業務 ・大津市自転車駐車場の施設及び設備の維持管理に関する業務 																					
主な成果 (自主事業含む)	<table border="1" style="width: 100px; margin-bottom: 5px;"> <tr> <td>使用料収入</td> <td>目標</td> <td>220,000 千円</td> <td>⇒</td> <td>実績</td> <td>200,535 千円</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>目標</td> <td>90 %</td> <td>⇒</td> <td>実績</td> <td>79 %</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>目標</td> <td>4,190,885 人</td> <td>⇒</td> <td>実績</td> <td>3,420,050 人</td> </tr> </table> <p>【主な自主事業実施による成果】</p>	使用料収入	目標	220,000 千円	⇒	実績	200,535 千円	稼働率	目標	90 %	⇒	実績	79 %	利用者数	目標	4,190,885 人	⇒	実績	3,420,050 人			
使用料収入	目標	220,000 千円	⇒	実績	200,535 千円																	
稼働率	目標	90 %	⇒	実績	79 %																	
利用者数	目標	4,190,885 人	⇒	実績	3,420,050 人																	

総合評価	I ~ IVによる総合評価	総合評価コメント			
	C (課題含)	日頃の自転車駐車場の管理運営について概ね事業計画どおりに実行された。また、常に本市と大津におの浜障害者福祉協会とで情報の共有を図り、より良い自転車駐車場の運営に努めた。一方で、収支状況については、赤字となっており更なる経費削減に努めていただきたい。			

I 実施体制	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課確認事項
	施設の設置目的の達成	事業計画書、事業報告書	B (良好)	利用者への対応やサービスの向上に全力を挙げて来た。	B (良好)	概ね事業計画書の通りに管理運営されていた。
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件	事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査	B (良好)	職員の配置においては、時間帯等によって増員等を行い、単年度契約として適正な雇用をしている。また、障害者雇用においては、ハローワークと連携し雇用促進に努めている。	B (良好)	障害者の雇用者数について、平成27年度より増加が見られた。
	職員の研修	事業計画書、事業報告書、研修資料等	B (良好)	2度の研修会等を行い、管理人の意見や利用者からの苦情等を報告し、業務に取り入れる。	B (良好)	年2回の研修報告書を確認している。苦情等の共有をしていたと報告を受けた。
	法令等遵守	仕様書、関係書類等、実地調査	B (良好)	大津市自転車駐車場条例・同条例施行規則を各駐車場に常備し、時間がある時には読む事を指導する。	B (良好)	駐車場責任者は常に条例等を携帯し、必要に応じて確認していた。
	個人情報保護・情報公開	協定書、管理办法(実地調査)	B (良好)	月極め契約時に個人情報が記載されている事から、施錠出来るBOXに保管を義務づけている	B (良好)	個人情報の記載された書類は、施錠されたキャビネットに保管されていた
	管理記録	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B (良好)	業務日誌等は事務局にFAXにて報告させ、修繕等の年間計画書も事前に提出している。	B (良好)	業務日誌や修繕の記録などの提出は、求めに応じて適切にされていた。
	連絡体制	事業計画書、事業報告書等関係書類	B (良好)	指定管理者として、市との連絡などは密に行って来ており、各、提出書類に不備等があった場合は早急に訂正し提出してきた。	B (良好)	担当者同士の連絡や、報告書等について、適正に提出されていた。
	緊急時対応	事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B (良好)	各駐車場責任者を置き、プロック別に緊急時の出動の連絡網及びマニュアルを作成し市に提出している。	B (良好)	緊急時の連絡網を取り決める等、緊急対応マニュアルを整備し、各駐車場で共有されていた。
	《I 総括》 業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設項目】		B (良好)		B (良好)	

指定管理導入施設実績評価シート(平成28年度)

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課確認事項
II 内容・水準	施設管理	事業計画書、日報	B (良好)	JRびわこ沿線付近の駐車場においては、安全確保のため登録制受付を継続し、月末においては、時間延長もしてきた。	B (良好)	随時自転車等の整理を行い、事故防止に努めていた。
	利用状況	事業計画書、事業報告書	B (良好)		C (課題含)	売上が、昨年度に比べ3%の減少となった。
	利用者対応	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、	B (良好)	駐車場利用者に対しての遵守事項の看板の設置や管理人の接客対応の強化を事務局から巡回指導をする。	C (課題含)	接遇について、市に何件か苦情を受けた。より良い接遇のため、研修に努めていただきたい。
	事業運営	事業計画書に則り、事業を計画どおり実施したか。 □ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。 □ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 □ 自主事業の実施により市民サービスの向上に効果があつたか。	B (良好)	サービス向上を基本として管理人一同運営に努力をしてきた。大津市との連携において様々な協議や指導を頂きながら利用者の満足を得る努力をして成果はあがつて感じている。また、利用者のタイヤ空気の補充を管理人が、利用者の同意でおなった。	B (良好)	自転車の空気入れや、軽微な修理など可能な限り対応し、サービスの向上に努めていた。
	維持管理	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B (良好)	施設場内の空地がある場合には、花壇等を作り花などを植え利用者に美観で癒している。修繕や保守管理については、大津市に月次と年次の予定を出し確認をして貰い、計画通りに実施が出来た。	B (良好)	施設の修繕は、計画的に実施され、また緊急の修繕にも適切に対応されていた。また、日々の清掃も適切に行われていた。
	情報提供	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B (良好)	HPIにおいては、半年に一度、内容を再確認をしている。また利用者からの要望等があげられ早急に必要とされる内容を事務所前とHPIに告知を出している	B (良好)	ホームページには、注意事項等の情報が適切に載せられていた。
	環境配慮	関係書類、実地調査	B (良好)		B (良好)	
	意見・要望・苦情	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B (良好)	利用者の苦情においては、駐車場・大津市・法人本部に連絡があつた場合、自転車部長が迅速に対応し解決をしてきており、必ず利用者の了解を得ている。	B (良好)	苦情があれば、法人の管理人及び責任者で対応されており、また必要に応じて市にその対応状況を報告されていた。
	利用者アンケート	事業計画書、アンケート、実地調査	B (良好)	年1回、各駐車場にアンケートBOXを置き利用者のご意見を頂いている。集計した後は駐車場で回答出来ることは告知している。	B (良好)	年一回アンケートが実施されていた。
	《II総括》 業務の内容・水準に関する評価【標準9項目／当施設項目】	C (課題含)		C (課題含)		
III 収支等	経理事務	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査	B (良好)	経理担当者を設置し、適正に事務処理を行っている。	B (良好)	料金の徴収から本市に納付されるまで、適切に事務処理がされていた。
	収支状況	事業計画書、事業報告書	C (課題含)	当初の契約以後、増えた業務があり赤字決算である。	C (課題含)	赤字となっている。
	経費節減の取組	仕様書、事業計画書、委託契約書、実地調査	B (良好)	無駄を排除し、効率的な運用を努めている。	C (課題含)	平成27年度の赤字額より半減しているが、今後も経費の削減に努めていただきたい。
	《III総括》 経費の収支等に関する評価【標準3項目／当施設項目】	B (良好)		C (課題含)		
IV その他	その他	実地調査				
	《IV総括》 その他に関する評価【当施設項目】					
特記事項等 (課題・成果)	【指定管理者】 指定管理者として利用者に対するサービスを管理人に徹底する事を研修会で伝えており、苦情数も大きく減少したが、今後も苦情をゼロを目標として、管理人と共有して行く。また、障害者が働きたい気持ちを持って貢えるよう勤務時間も考えて採用して行く予定であり、ハローワークや障害者団体にも声を掛け、障害者が勤務であっても、利用者に対するサービスが落ちない運営を行っている。 【施設所管課】 自転車駐車場の使用料が、前年度と比べて減少していることから、施設内の整理や利用形態の見直し等を検討していく。					

※評価基準:項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準(A~D)は、モニタリングチェックシートと同様とする。

